

期間誌

『氣』

于雷気功研究会 発行
TEL 047-322-3756



【No. 81】



【2017年11月 発行】

元神論

元神の表現形式

元神の表現形式には、次のようなものがあります。

一、生まれつき

自然的呼吸と心動

二、習慣的動作

歩き方

(右手と左足、左手と右足を動かす。)

掻く動作(上から下へかく。)

怒りの表現、夢等

三、芸術創造能力、科学創造能力、

直覚活動、気功功法創作能力等

四、良性意念

快樂(楽しむ)、和諧(気が合う)、

温暖(太陽が大地に与える温暖感等

五、元神の三段階

(一)直感

天才能力

《例》教えられなくてもピアノが弾ける。

外部の刺激の極限を超越する能力

《例》痛みが限界を越えると麻痺になる。

元神は身の防衛能力があり、限界を知

っているのが直感です。

気功の訓練で直感の限界を広げる。

子どもを毎日怒るとマヒしてしまう。
負けが必要。毎回成功では進歩がない。

(2) 経歴

遺伝経歴

(先天の経歴で、自分の経歴ではない)。

人に教えられたのではない。

ものに対しての自然反応。

外界の刺激で甦る能力等

(3) 直覚

直感と経歴があって直覚が出てくる。

先天と後天の真意の完美的結合。

芸術、科学、気功、自覚形成、先天理

性、合理、予知、成功能力等。

人の魂と血脈がつながり衝撃力(衝撃

力)をもつ。

人の情感世界の中で自然と気を結び

大人気のパワーを形成する。

そのパワーを人格の魅力、自然本能と

言う。

気功練功で宇宙の本能を持つ。

何でも本覚できる人になる。

仏教の三境界

仏釈迦、観音、法経典、僧(僧侶)。

信仰、伝承、表現

元神の特性

一、元神の動性(生命の具体的な動き)

(1) 徳動

自動調節機能。無意識の動き(汗がでる、家に帰れる等)で生活習慣ともいう。

(2) 識動

精神意識活動。元神の下での思想のある動き。勉強、企画、研究等。

(3) 魄動

知覚の動き。魂魄真意の動き。真心、潜在の動き等。

二、元神の独立性

(1) 性格を決める。

人間はたかさんの元神を持ってないので、明るい、暗い、強い、弱い、隠れる、顕著等から一つの性質を持つ。

いくつもの性格を持つ者は多種人格。

(2) 内臓器官の自然効能独立性。

五臓の効能(効能も元神が決める。)

《例》心の独立性

主血脈、主神志

肺の独立

主気、司呼吸、主肅降通順水道、

皮膚呼吸、宣発

外界の因素、身体反応

《例》夏、汗が出る。

深層独立感覚(醒、悟)

《例》食の好み。食べるうちに好きな

ものが甦る

(3) 気の自生(自分で気を生産する)

自建(自分の体で気のシステムを作れる)

自修(経絡の渋滞などを自分で修正できる)



自調(自分で調節できる)

自我証実(信仰人生の目標、自信がある。

動しない。)

これらは元神のレベルによって独立完成する。

元神を上手に使う条件

一、元神の重要性

元神は生命の活動中、精神意識に対して主導の作用を持ちます。練功の目的は元神をしっかりと発現することです。元神はいつでも独立的な精神をもって、自然調節の能力を最大限に発揮します。

二、意念の持ち方

“恬淡虚無、真氣從之”

元神はこの状況の下に生まれます。

恬—内無所蓄、空(心の中には何も無い。)
淡—外無所欲(外に対して無欲、欲しいものがない)

虚—致静(静か)

無—致細(細かい)

自然和諧、心無雜念。

空で欲がなく、細かい環境の下で練功すればあなたの元神の気が自然に流れ始めます。気が流れることは人の本能です。

三、識神について

後天の識神は、外界の事物に対して誤導になりがちです。私たちはものに対して感動しやすいので、情や欲が起こり真意が出てこないのです。

四、恬淡虚無

恬淡虚無は消極的な生活ではありません。恬淡虚無の下では生活を深く認識でき、新しい世界感を開拓することが出来ます。独立自立、眞正的な価値観を建立します。心安無俱、精神内守。新しい精神世界を持ち、精神も身体も健康になります。見えない世界が見えるようになり、一般的な状況で感じられないものを感知することができるようになります。それを元神の気の發揮といいます。

用思有限者、不能得元神

私たちの思想意識に自分で制限をつくらない。不可能はない。

1、元神はどんな時に現れますか？

眞意の現れは識神と理性の意識がある時に現れません。

全部自分の知識で理解しようとする時は現れません。

大事件が何故か自然に解決した後、また困難を乗り越えた後、とても楽しいタイミングで出てきます。大師はたくさん眞意をもっているひとです。

2、元神が現れる条件

気場の作用

他の人の練功体験を聞いて気の感覚の違いを交流する楽しみは精神的自由快樂が生まれます。道家気功では“清浄心”と言言葉で美しい、素朴、安心、心の雑念が無く単純の内容が生まれます。

3、社会に対して正確な認識が必要です。

- ・ 経験認知を破れ
 - ・ 伝統観念は10年に一度は更新する。
 - ・ 認識、認知を破れ。
 - ・ 習慣認知を破れ。
 - ・ 内心の自由と安全を獲得します。
 - ・ 潜在能力が開発されます。
 - ・ 新しい生命力を獲得します。
 - ・ 本能が甦ります。
- そうすれば本能の糸と繋がります。

識神の正確な認識

識神とは何ですか？

識神は知識です。

- 一、人類の成長発育システムを進める為に識神(知識)が生存の手段になりました。

二、識神は人類進化の方向でいつの間にか

手段が目的になりました。

【科学手段・認識手段】

知識、信仰、論理、文化等。逆に幻想、夢想、返想、空想がなくなります。

人類自然能力、体力、本能技術が退化してなくなりました。五官、分別能力の低下になります。

- 三、智力は本能に勝ち、生存のために人は自然状態に戻れなくなりました。

- 四、元氣、元神の潜在作用を發揮するより人類は更に現代科学、文化、歴史の識神を重視しています。実際に生存する仙人は養生と道徳を根本認識出来なくなりました。自然界の本質がわかりません。

自我無知、恬淡虚無、天真素朴は現実生活の中で人気がなくなりました。とても危険なことです。

五、本能がどんどんなくなります。充分元

神の作用を發揮するには心無所蓄、外無所逐、道法自然、正確に現実を認識する、深い意識の中で内外世界の気の交流を互覚、互動することは練功の基本内容です。

古仙人高級気功46式

第七式 涓子垂釣荷澤

紀元前2世紀の人物。山東省出身。黄河の支流は水もゆっくりと流れていきます。釣りを垂らすと魚が集まってくるので他の人より多くつれます。

ある日、大自然の中では珍しい赤い鯉が釣れました。10kg以上もあります。鯉の腹の中から絹の天書が見つかりました。絹の上には雨雲を呼び方法が記されていました。涓子仙人は田植えの時期に雨を降らせ有名人になりました。後に泰山に入って姿を消しました。

左右それぞれに虚歩で一步出し、拳で手首を使って釣りを垂れるように構える。力まないで集中力が必要。悠然と構え、糸と意念を繋ぐ。



毎週土曜日の講座で紹介されています

古仙人気功は一般の気功とは違い、不思議なメッセージがついています。

すべての功法はすべての病に効く不

思議な仙人パワーがあり、天地日月星

辰と暗合し、説明するのではなく、練

功しながら風水磁気のパワーがつい

てきます。

【ホームページ】

于雷気功大師の外気実演動画掲載中です。

<http://yurei-kikou.com>

応援価格 一部 二〇〇円

編集責任者 于雷

編集スタッフ 植松 恵美

山本 教子

小林 達志 他

連絡先 ☎ 070・2155・7134